

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書:竜巻関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.54	「表3-20 排気管(非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル機関の付属施設)及びベント管(非常用ディーゼル発電設備及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル燃料貯蔵タンク、ディーゼル燃料デイトン並びに潤滑油サンプタンクの付属施設)の構造計画」内の図を適正化しました。	2022/5/30	
2	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.62,72	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)5188 (新)5189	2022/5/30	
3	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.68	以下の適正化を実施しました。(下線部参照) (旧)原子炉補機海水系配管及び弁、高圧炉心スプレイ補機海水系配管及び弁、非常用ディーゼル発電設備ディーゼル(燃料移送系)配管及び弁並びに高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備(燃料移送系)配管及び弁 (新)原子炉補機海水系配管及び弁並びに高圧炉心スプレイ補機海水系配管及び弁	2022/5/30	
4	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.68	No.3に伴い、「非常用ディーゼル発電設備ディーゼル(燃料移送系)配管及び弁並びに高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備(燃料移送系)配管及び弁」の行を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
5	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.70	荷重の組合せについて、復水貯蔵タンク遮へい壁は、気圧差による荷重(Wp)は見込まないものとして、「表4-3 竜巻の影響を考慮する施設の荷重の組合せ(4/4)」内の記載を適正化しました。	2022/5/30	
6	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.75,92	以下を修正しました。(下線部参照) (旧)2012 (新)20Q2	2022/5/30	
7	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.82	表4-7の記号の定義について、定義を追記し、修正しました。	2022/5/30	
8	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.92	荷重の組合せについて、以下を修正しました。(下線部参照) (旧) $Fd+W_T(W_W, W_E, W_M)$ (新) $Fd+W_T(W_W, W_M)$	2022/5/30	
9	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.102,108,116, 119,123,126, 131,135,139, 143,145,153	記号「 $\Delta P_{max}$ 」の定義を「設計竜巻の最大気圧低下量」に統一しました。	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
10	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.108,109,116, 119,126,131, 135,139,143, 145,148,149, 153	記号の定義について、許容値の設定に関する「JSME SSB-3121.1(1)により規定される値」等の記号を削除し、修正しました。	2022/5/30	
11	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.108,116,119, 120,122~124, 126,128,131, 132,135,136, 139,141, 143~146, 153,155	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{max}$	2022/5/30	
12	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.116	自重の定義について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $W$ (新) $H$	2022/5/30	
13	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.118	(1)評価条件に曲がり部の応力係数の設定方法について追記し、適正化しました。	2022/5/30	
14	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.119	応力係数「 $i$ 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
15	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.119	風圧力により作用する曲げモーメントの定義について、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) $M$ (新) $M_a$	2022/5/30	
16	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.119	自重により作用するモーメント「 $M_b$ 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
17	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.119	一次応力「 $S_{prm}$ 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
18	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.119	管に生じる応力「 $\sigma_1$ 」及び「 $\sigma_2$ 」について、定義を削除し、適正化しました。	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
19	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.120	No.13に伴い、「図5-7配管のモデル図」を適正化しました。	2022/5/30	
20	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.120	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)風圧力により生じる応力 (新)風圧力により生じるモーメント	2022/5/30	
21	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.120	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)曲げ応力 (新)曲げモーメント	2022/5/30	
22	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.120	No.20に伴い、風圧力により生じる応力の算出式を風圧力により生じるモーメントの算出式に適正化しました。	2022/5/30	
23	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.120	No.21に伴い、自重により生じる応力の算出式を自重により生じるモーメントの算出式に適正化しました。	2022/5/30	
24	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.121	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)自重及び風圧力により生じる曲げ応力 (新)応力係数を考慮した自重及び風圧力により生じる曲げ応力	2022/5/30	
25	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.121	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) $\sigma_1$ 及び $\sigma_2$ (新) $S_{prn}$	2022/5/30	
26	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.121	No.25に伴い、 $\sigma_1$ 及び $\sigma_2$ の算出式を $S_{prn}$ の算出式に適正化しました。	2022/5/30	
27	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.145	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)ケーシング板厚 (新)ケーシング厚さ	2022/5/30	
28	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.145	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)面外荷重 (新)面外方向の荷重	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
29	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.149	設計竜巻による荷重「 $W_T$ 」について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)単位「MPa」、定義「複合荷重」 (新)単位「N」、定義「設計竜巻による荷重」	2022/5/30	
30	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.152	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)なお、ベント管は、 (新)なお、排気管及びベント管は、	2022/5/30	
31	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.152	No.30に伴い、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)排気管及びベント管のモデル図を図5-23、図5-24に示す。 (新)排気管及びベント管のモデル図を図5-23に示す。	2022/5/30	
32	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.154	No.31に伴い「図5-23 排気管モデル図」を削除し、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)図5-24 ベント管モデル図 (新)図5-23 排気管及びベント管モデル図	2022/5/30	
33	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.155	No.30に伴い、「(両端支持形状)」、「(両端支持形状)」の算出式及び「(片持ち形状)」を削除し、適正化しました。	2022/5/30	
34	NS2-添3-013-01	VI-3-別添1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針	P.157	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)コンクリート標準示方書 設計編((社)土木学会, 2012) (新)コンクリート標準示方書 構造性能照査編((社)土木学会, 2002年)	2022/5/30	
35	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	表紙	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添1-8 (新)VI-3-別添1-7	2022/5/30	
36	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.8,15,29,31	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{max}$	2022/5/30	
37	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.8	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)設計竜巻の気圧低下量 (新)設計竜巻の最大気圧低下量	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
38	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.18	原動機フレームの $S_y$ について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)103 (新) <u>231</u>	2022/5/30	
39	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.18	原動機フレームの $S_u$ について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)177 (新) <u>394</u>	2022/5/30	
40	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.29	表4-2, 4-3, 4-4のAの単位について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $\text{mm}^2$ (新) <u><math>\text{m}^2</math></u>	2022/5/30	
41	NS2-添3-013-07	VI-3-別添1-7 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.29,31	WMの数値について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)0 (新) <u>二</u>	2022/5/30	
42	NS2-添3-013-08	VI-3-別添1-8 海水ストレーナの強度計算書	表紙	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添1-9 (新)VI-3-別添1- <u>8</u>	2022/5/30	
43	NS2-添3-013-08	VI-3-別添1-8 海水ストレーナの強度計算書	P.5,7	自重の定義について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)W (新) <u>H</u>	2022/5/30	
44	NS2-添3-013-08	VI-3-別添1-8 海水ストレーナの強度計算書	P.5,7,10	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{\text{max}}$	2022/5/30	
45	NS2-添3-013-08	VI-3-別添1-8 海水ストレーナの強度計算書	P.5	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)設計竜巻の気圧低下量 (新)設計竜巻の <u>最大</u> 気圧低下量	2022/5/30	
46	NS2-添3-013-08	VI-3-別添1-8 海水ストレーナの強度計算書	P.5	設計竜巻による複合荷重の定義「 $W_T$ 」を削除し、修正しました。	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
47	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	表紙	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添1-10 (新)VI-3-別添1- <u>9</u>	2022/5/30	
48	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.6	「(以下「JSME」という。)」を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
49	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	応力係数「 $i_j$ 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
50	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	風圧力により作用する曲げモーメントの定義について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)M (新)M <sub>a</sub>	2022/5/30	
51	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	自重により作用するモーメント「M <sub>b</sub> 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
52	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	一次応力「S <sub>prn</sub> 」について、定義を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
53	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8,11,15~17	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)ΔP (新)ΔP <sub>max</sub>	2022/5/30	
54	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)気圧低下量 (新)設計竜巻の最大気圧低下量	2022/5/30	
55	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.8	「 $\sigma_1$ 」, 「 $\sigma_2$ 」, 「 $\sigma_{WT1}$ 」, 「 $\sigma_{WT2}$ 」, 「 $\sigma_{wv}$ 」及び「 $\sigma_{自重}$ 」について、定義を削除し、適正化しました。	2022/5/30	
56	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.13,17,19	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)SM41C (新)SM400C	2022/5/30	
57	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.13	各評価対象配管に「温度条件」を追記し、修正しました。	2022/5/30	
58	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.14	(a)計算モデル及び図3-3に、曲がり部の応力係数の設定方法について追記し、適正化しました。	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
59	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)風圧力により生じる応力 (新)風圧力により生じるモーメント	2022/5/30	
60	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)曲げ応力 (新)曲げモーメント	2022/5/30	
61	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	No.59に伴い、風圧力により生じる応力の算出式を風圧力により生じるモーメントの算出式に適正化しました。	2022/5/30	
62	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	No.60に伴い、自重により生じる応力の算出式を自重により生じるモーメントの算出式に適正化しました。	2022/5/30	
63	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)自重及び風圧力により生じる曲げ応力 (新)応力係数を考慮した自重及び風圧力により生じる曲げ応力	2022/5/30	
64	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) $\sigma_1$ 及び $\sigma_2$ (新) $S_{prmm}$	2022/5/30	
65	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.15	No.64に伴い、 $\sigma_1$ 及び $\sigma_2$ の算出式を $S_{prmm}$ の算出式に適正化しました。	2022/5/30	
66	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.17	表4-2に、応力係数「 $i$ 」及び「応力係数「 $i$ 」の数値」を追記しました。	2022/5/30	
67	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.19	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) 66 (新) 103	2022/5/30	
68	NS2-添3-013-09	VI-3-別添1-9 配管及び弁の強度計算書	P.19	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) 46 (新) 65	2022/5/30	
69	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	表紙	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-別添1-12 (新) VI-3-別添1-11	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
70	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.12~17,31,34,35,38~44	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{max}$	2022/5/30	
71	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.12~17	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)最大気圧低下量 (新)設計竜巻の最大気圧低下量	2022/5/30	
72	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.24	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) SECC (新) SEHC	2022/5/30	
73	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.25	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) SPGC (新) SGCC	2022/5/30	
74	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.42	ダクト単位長さ当たりの荷重w1について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) 1.8565 (新) <u>1.865</u>	2022/5/30	
75	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.42	ダクト単位面積当たりの荷重w2について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) 346.292 (新) <u>346.3</u>	2022/5/30	
76	NS2-添3-013-11	VI-3-別添1-11 空調換気設備の強度計算書	P.42~44	評価条件について、「 $\delta$ 」を削除し、誤記を修正しました。	2022/5/30	
77	NS2-添3-013-12	VI-3-別添1-12 非常用発電装置の強度計算書	表紙	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-別添1-13 (新) VI-3-別添1- <u>12</u>	2022/5/30	
78	NS2-添3-013-12	VI-3-別添1-12 非常用発電装置の強度計算書	P.6,10~12	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{max}$	2022/5/30	
79	NS2-添3-013-12	VI-3-別添1-12 非常用発電装置の強度計算書	P.6	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)設計竜巻の気圧低下量 (新)設計竜巻の最大気圧低下量	2022/5/30	



No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
80	NS2-添3-013-14	VI-3-別添1-13-2 消音器の強度計算書	表紙	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添1-14-2 (新)VI-3-別添1-13-2	2022/5/30	
81	NS2-添3-013-14	VI-3-別添1-13-2 消音器の強度計算書	P.8	「イ. 風圧力による荷重( $W_w$ )」について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)4.1(1)b.(a) 風圧力による荷重 (新)4.1(3)c.(a) 風圧力による荷重	2022/5/30	
82	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	表紙	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添1-14-3 (新)VI-3-別添1-13-3	2022/5/30	
83	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	目次	頁表記について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)「14」、「15」 (新)「13」、「14」	2022/5/30	
84	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.3	「図2-2 排気管の概略構造図」を修正しました。	2022/5/30	
85	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.6,8,12	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧) $\Delta P$ (新) $\Delta P_{max}$	2022/5/30	
86	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.6	以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)最大気圧低下量 (新)設計竜巻の最大気圧低下量	2022/5/30	
87	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.7	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)配管本体及びサポート(配管支持構造物)に作用する。 (新)配管本体及びサポート(配管支持構造物)又は配管本体及び排気消音器に作用する。	2022/5/30	
88	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.7	No.87に伴い、「排気消音器については、VI-3-別添1-13-2「消音器の強度計算書」に示すとおり、竜巻に対して耐荷重設計がなされているため、竜巻による風荷重が作用した場合でも、構造健全性を保持する。」を追記し、適正化しました。	2022/5/30	
89	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.7	「図3-1 排気管の評価対象部位」を適正化しました。	2022/5/30	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
90	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.10,14	許容応力について、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)145 (新)135	2022/5/30	
91	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.11	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)なお、ベント管は、 (新)なお、排気管及びベント管は、	2022/5/30	
92	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.11	以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)片持ち形状の配管モデルを図3-4に示す。 (新)片持ち形状の配管モデルを図3-3に示す。	2022/5/30	
93	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.11	No.91に伴い、「図3-3 配管モデル図」を削除し、適正化しました。	2022/5/30	
94	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.11	No.93に伴い、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)図3-4 配管モデル図 (新)図3-3 配管モデル図	2022/5/30	
95	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.12	No.91に伴い、「(両端支持形状)」、「(両端支持形状)」の算出式及び「(片持ち形状)」を削除し、適正化しました。	2022/5/30	
96	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.13	設計竜巻の最大気圧差 $\Delta P_{max}$ について、以下の修正を行いました。(下線部参照) (旧)5188 (新)5189	2022/5/30	
97	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.13,14	形状について、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)両端支持 (新)片持ち	2022/5/30	
98	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.13	支持間隔Lについて、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)5.78 (新)4.11	2022/5/30	
99	NS2-添3-013-15	VI-3-別添1-13-3 排気管及びベント管の強度計算書	P.14	発生応力について、以下の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)25 (新)34	2022/5/30	